



食でつなぐ！南あわじの輪！ 架け橋パントリープロジェクト

南あわじ市社会福祉協議会 平見 明子

きっかけ

コロナ禍、令和3年1月末、地域の方より

「南あわじでも、パートの方などの収入が途絶えている現状がある、支援が必要な人の**現状を把握**して食糧支援ができないか」と相談があった。

長引くコロナ禍、学生や制度の狭間で苦しむ世帯を支援する為、
地域の住民や団体が主体となり食材循環の仕組みを整えようと動き出す。



令和3年2月末、食材循環の仕組みづくりについて4団体の連携会議
第1回**架け橋パントリープロジェクト会議**が実現

フードバンク淡路島

南あわじ市消費者協会

南あわじ市役所（福祉課、ゆめるん課、市民協働課）

南あわじ市社会福祉協議会

コロナ禍での食材循環の仕組みについて共有

コロナの影響で不安に感じられている方を対象に食材支援を実施する



第6回 食でつなく！南あわじの輪！



架け橋パントリー プロジェクト 食材の無料配布会を開催！

南あわじ市内に在住・在学生活に不安を感じられている方へ地域のみなさまからご寄付いただいた食材を無料でお渡ししています。『誰もがいつでも利用でき、地域の人々をつないでいくパントリー』となるようプロジェクトをすすめています。

対象 南あわじ市内に在住・在学されている方

内容 お米・食材（お米とレトルト・インスタント食品、飲料、乾麺、調味料など）
地域の方からご寄付いただいたお米と食材を活用しています。

受取場所 南あわじ市社会福祉協議会（南あわじ市広田広田1064番地）

配布日 12月16日（金）9：00～19：00
他の日程・時間をご希望の方はご相談ください。

要

事前申込 Eメール・FAX・郵送・電話でお申し込みください。
申し込みいただいた方には随時、整理券を郵送します。
申し込み締切：令和4年12月2日（金）



問い合わせ先：南あわじ市社会福祉協議会 南あわじ市広田広田1064番地
電話 0799-44-3007 FAX 0799-44-3037 Eメール info@minamiawaji-shakyo.or.jp



南あわじ市社会福祉協議会では常時、地域の方から寄せられたお米や食材を窓口でお渡ししています。詳しくは下記までご連絡ください。

氏名		連絡先	
住所	〒		
ご希望の日程	12月16日（金） その他（__月__日）		
世帯について	大人：__名 子ども：__名（お子さんの年齢__、__歳）		
	お米と食材を希望 食材のみ希望 日頃から料理をしている 料理はしていない		
生活の不安や心配事 についての相談	希望する 希望しない		

<主催>南あわじ市社会福祉協議会

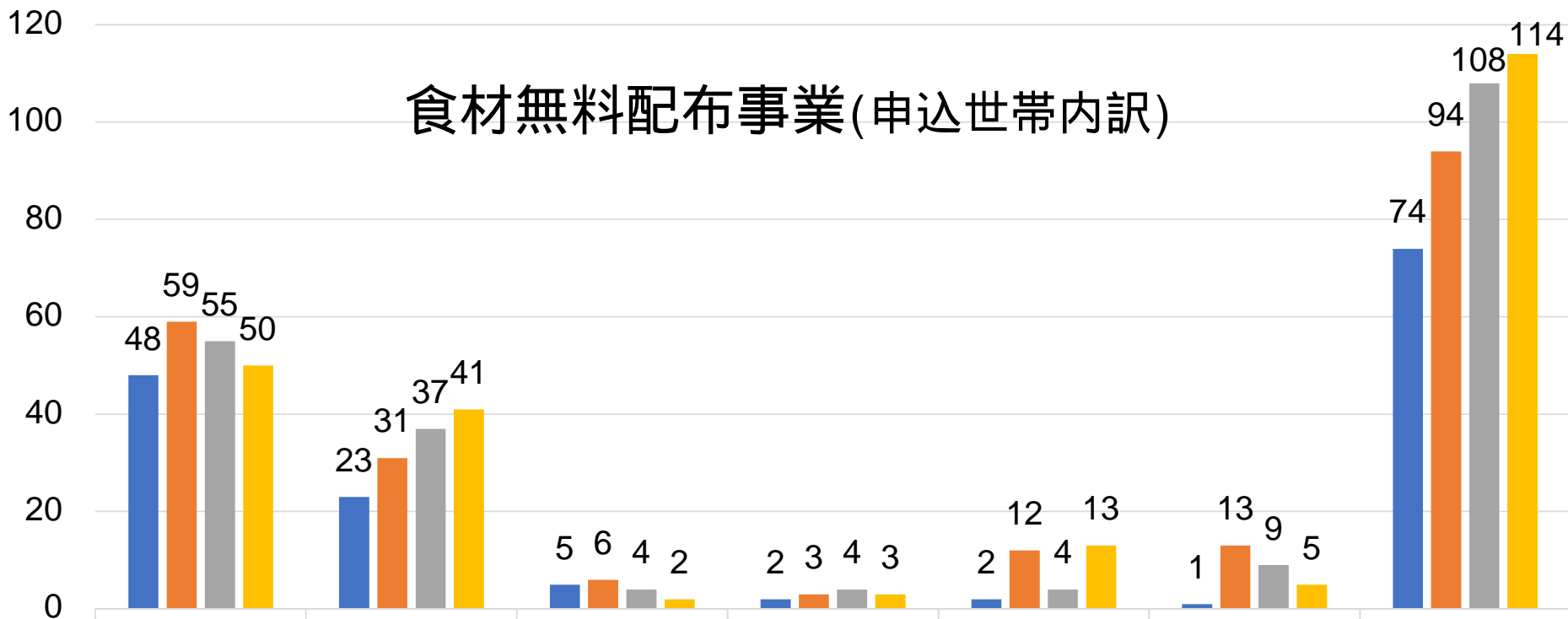
<共催>フードバンク淡路島、南あわじ市消費者協会、生活協同組合コープこうべ、南あわじ市







食材無料配布事業(申込世帯内訳)



	ひとり親世帯	生活福祉資金(コロナ特例)	住居確保給付金	外国人	学生	その他	申込世帯数
■ 第1回	48	23	5	2	2	1	74
■ 第2回	59	31	6	3	12	13	94
■ 第4回	55	37	4	4	4	9	108
■ 第6回	50	41	2	3	13	5	114

アンケート結果

架け橋パントリーを申し込まれた理由・自由記述欄の内容(一部抜粋)

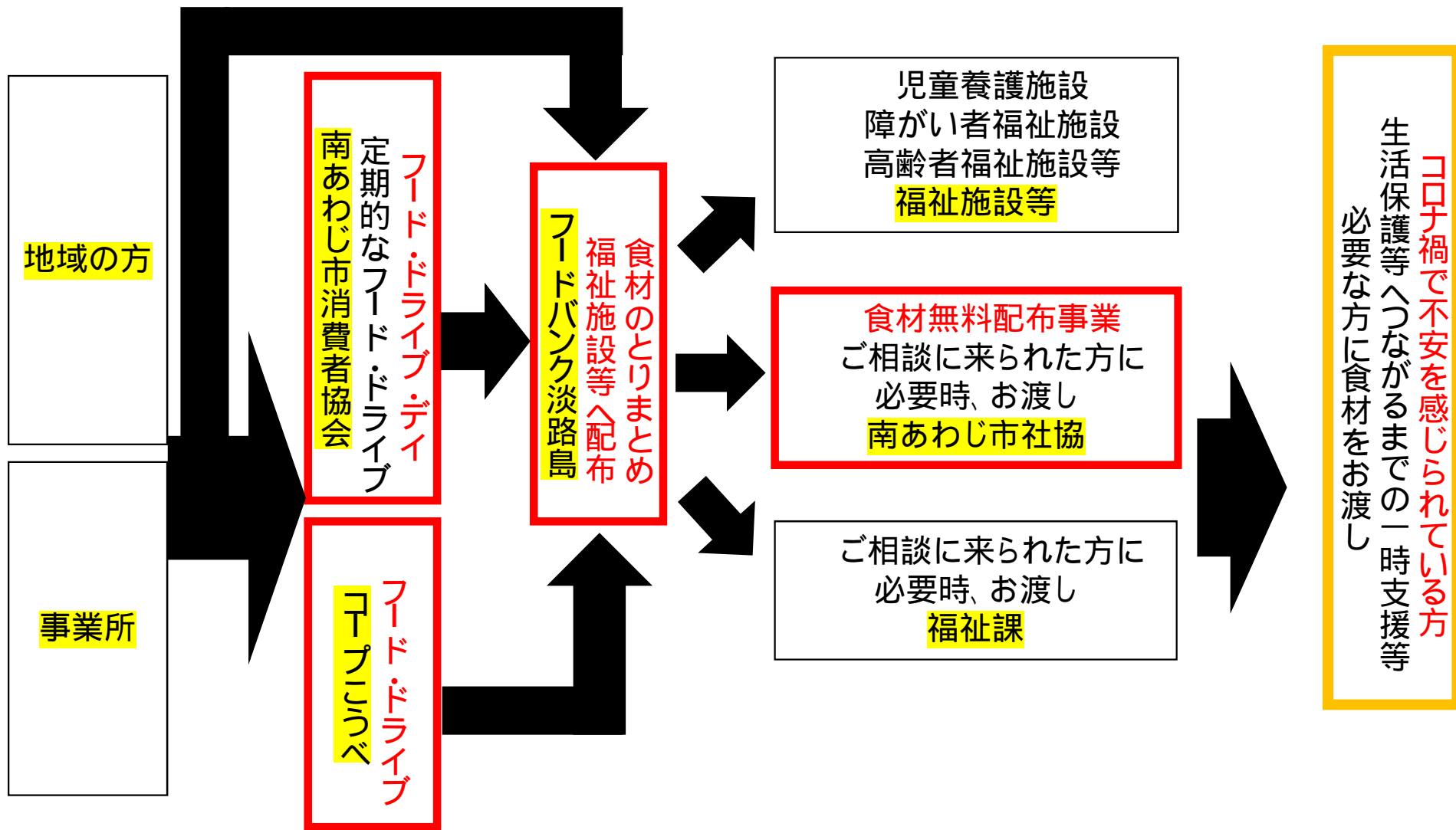
- ・春休みに入り、**子どもが家にいる日が多いので助かる**ため。
- ・母子家庭なので食材の支援は助かる。
- ・コロナで給料が減っているなので少しでも子供に栄養のあるものと思う所があった。
- ・給料が少なく**夏休みで食費がかさむ**から。
- ・中学生の息子がよく食べるので申込みしました。前回お米など頂きすごく助かりました。嬉しかったです。
- ・これから学費がもつというので少しでも食費を削れたらと思いました。
- ・病気で医療費がかさみ、**食費しか支出をおさえることができないので、食べる物が買えない。**
(収入が年金の減免のため少ししかない)
- ・コロナウイルスの影響で休業中のため、無料配布の食材を活用させていただき、家計の支出をおさえるため。
- ・コロナでなかなか仕事が見つからず、半年定職につけず、子どもが中学校入学だったので、自転車や制服などお金が要り用で貯金も減っていたため、支出をおさえるため。
- ・この度は食材配布いただきありがとうございます。貧しい生活の中で、**食材配布をいただいたことで心が豊かになりました。**また、久しぶりに楽しい食事が出来ると思います。皆さまによろしくお伝えください。

フードドライブ・デイの様子





架け橋パントリープロジェクト(令和3年度~)



課題

- ・ 本当に必要な人に届いているか
- ・ 申込者の固定化(7割程度がリピーター)
- ・ 食材の保管場所

今後の方向性

- ・ イベント型 常設型
(困ったときいつでも気軽に活用できるパントリー)
- ・ 利用された方の声を反映していく
- ・ “ほっとかへんネット”との更なる協働を

